

日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会 PRA 品質確保分科会  
第 33 回会合議事録

日時：2020 年 6 月 10 日（水）13:30～16:20

場所：Cisco WebEx Meeting による Web 会議

出席者（敬称略）

委員：桐本主査（電中研），藤崎幹事（関電），倉本（NEL），田中（MHI）  
二木（東電），杉原（原電），木村（日立 GE），玉木（中部電），  
日高（テプシス），村田（JANSI），吉田（JAEA），小森（東芝）

12 名出席

常時参加者：山本（原電エンジ）

傍聴者：なし

欠席委員：糸井（東大）

配付資料：

RK4SC33-1：第 32 回 PRA 品質確保分科会議事録案

RK4SC33-2：人事について

RK4SC33-3-1：第 35 回 リスク情報活用検討タスク 議事録（抜粋）

RK4SC33-3-2：原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準  
（品質確保基準改定）中間報告案

RK4SC33-3-3：原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準  
（品質確保標準改定）コメント管理表

RK4SC33-3-4：原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する  
実施基準案（品質確保基準改定案）

RK4SC33-4：分科会スケジュール案

RK4SC33-参考 1：分科会名簿

RK4SC33-参考 2：Web 会議マニュアル（案）

RK4SC33-参考 3：専門家判断に係る附属書案

議事：

1. 定足数の確認

委員 13 名中 12 名が出席しており、本会議が議決に必要な定足数を満足していることが確認された。

2. 前回議事録の確認（RK4SC33-1）

RK4SC33-1 に基づき、第 32 回分科会の議事録を確認し、正式版とすることが了承された。

3. 人事について

RK4SC33-2 に基づき、曾根田委員の退任について報告され、新たに木村委員候補の選任について投票を経て了承された。

#### 4. 原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準

(品質確保標準改定) の中間報告案について (RK4SC33-3-1, 2, 3, 4)

RK4SC33-3-1, 2 に基づき、藤崎幹事から「原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準」(品質確保標準改定) の中間報告案の内容、及び同案についてのリスク情報活用検討タスクにおける審議結果について説明があった。中間報告案の内容について、以下の審議があった。

- 中間報告案 3. 「(3) 専門家判断、ピアレビューに係る記載の充実」において、専門家判断に関する文献 (U.S.NRC の White Paper) を調査した結果、本標準へ取り込む必要はないと記載されているが、専門家判断を理解する上で大いに参考になっており、付属書として取り込む方針である現状の方針を反映することとした。
- 同じく中間報告案 3. (3)において、参加型のピアレビューについては断層変位 PRA 標準 (作成中) を確認して、記載の充実化を検討することとした。

また、RK4SC33-3-3, 4 に基づき、藤崎幹事から同実施基準に関するコメント管理表の内容、及び実施基準案(品質確保基準改定案)について説明があり、以下の審議があった。

- 実施基準案「6.4 未対応による影響の確認」に追記された文章において「未対応の影響が大きい場合」となっている点、PRA アップグレード/メンテナンスの定義と混同するとの指摘があり審議された。この結果、「6.3 PRA のメンテナンスまたはアップグレードの実施」の冒頭 4 行目に適切に実施時期を定める旨、追記すること、及び 6.4 の追記文章において「影響が大きい場合」を「影響が無視できない場合」とすることと「直ちに」を削除することとした。
- 旧「解説 6 審議中問題となった事項」が全て削除されている点について審議された。この結果、現状の解説 6 のタイトルを「審議中問題となった事項」に変更し、(1)をメンテナンス、アップグレードについて、(2)に上記にて削除されていた本実施基準のタイトル変更に関する議論を示すこととした。
- まえがき 4 パラグラフ目の記載「リスク評価のアプリケーションとして適用性、受容性の高いものを目指すため」について、主語 (この標準は) を追加し、「リスク評価結果をアプリケーションに用いる際の適用性、受容性が高くなることを目指す」という主旨で修文することとした。
- 今後 1 週間で各委員にて同実施基準案をレビューし、6/17 までに意見・コメントを集約した後、反映して検討タスク、リスク専門部会に諮ることとした。

#### 5. リスク関連標準に関する技術支援について

電中研にて技術支援の予算があり、文献調査や和訳等の作業が可能のため、実施基準検討に資するような作業が無いが、意見募集がなされた。今後の実施基準案のレビューと合わせて検討し、同じく 1 週間後 (6/17) までに提示することとした。

#### 6. その他

専門家判断に関する文献 (U.S.NRC の White Paper) の調査結果の活用方法について審議された。同調査結果を 4 つの付属書に分割して起案 (RK4SC33-参考 3) しているが、参考 3-1 及び 2 は付属書参考、3-3 及び 4 は技術レポートとしていく方針とした。いずれも中間報告の対象とする。

#### 7. 次回分科会日程

次回分科会は 8/4 (火) PM に開催することとした。

以 上